

高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第44週（10月29日～11月4日）

★お知らせ

インフルエンザ予防接種について！

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして今から予防接種をご検討下さい。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第43週の1.60から第44週は1.53と横ばいです。県全域から報告があり、高知市、須崎で減少していますが、安芸で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では、病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌等細菌を原因とする胃腸炎7例（カンピロバクターと病原性大腸菌の同時感染も含む）の報告や、ノロウイルス陽性1例の報告があります。

病原体検出情報では、須崎から搬入された検体で臨床診断名が「感染性胃腸炎」と「無し」から Sapovirus genogroup unknown が各1例検出されています。

<予防方法> 手洗いが有効です。

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第43週の1.30から第44週は0.97と減少しています。中央西で急減、高知市で減少していますが、幡多で急増、中央東で増加しています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも溶連菌感染症18例の報告があることから注意が必要です。

病原体検出情報では、高知市から搬入された検体から *Streptococcus pyogenes TB3264* が2例検出されています。

この病気は、高熱・咽頭痛・おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌・全身に発赤が広がる猩紅熱といわれる全身症状を呈します。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。

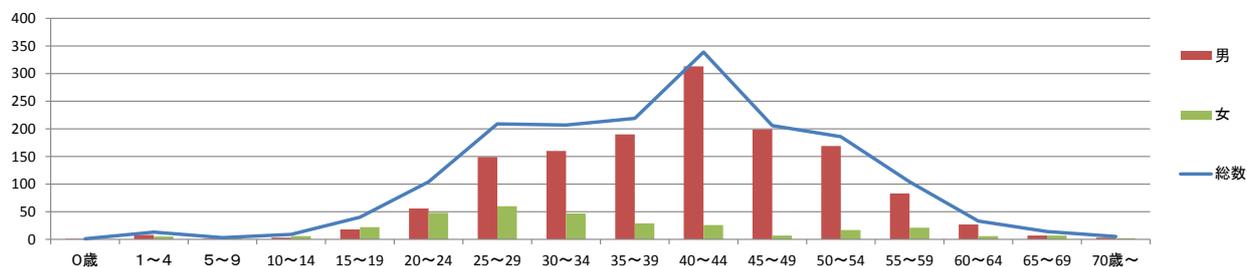
<予防方法> 人から人への飛沫感染・接触感染が主です

人と接触する機会が増える時期に感染が起こりやすく、家庭や学校など集団での感染も多くみられます。うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

関東地方を中心に風しんの報告が多い状態が継続しています。高知県の患者数は、2015（平成 27）年から報告はありませんが、2018（平成 30）年の全国患者数 1692 人（第 43 週まで）のうち 96%（1626 人）が成人で、男性が女性の 4.5 倍多くなっています（男性 1387 人、女性 305 人）。

第43週までの風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、愛知県以外に大阪府、茨城県、福岡県、兵庫県、静岡県など首都圏以外の地域からも報告が認められています。四国では、高知県を除く 3 県から報告がされており、報告のない県は高知県を含め第 43 週時点で 4 県となっています。

今後、全国的に感染が拡大する可能性がありますので注意してください。

<各医療機関管理者の皆様へ>

（高知県健康対策課 平成 30 年 8 月 17 日付け 30 高健対第 859 号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- ② 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行うので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

<県民の皆様へ>

風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。

風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児の方）

風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠 20 週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りにはいる方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

衛研ニュース第 20 号（高知県衛生研究所）30～50 歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム



☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

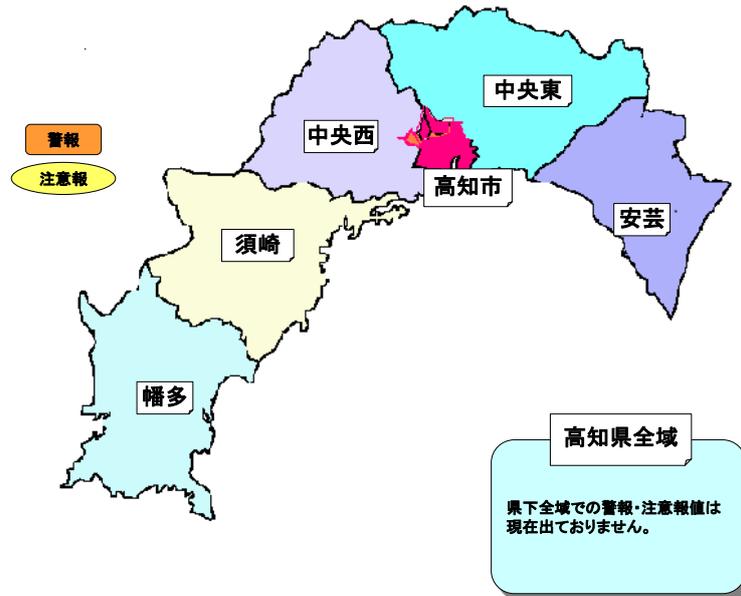
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増 ↑：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	1. 5 3	高知市、須崎で減少していますが、安芸で急増しています。
A 群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↓	0. 9 7	中央西で急減、県全域、高知市で減少していますが、幡多で急増、中央東で増加しています。
手足口病	→	0. 4 3	高知市、幡多で急減していますが、須崎で急増しています。
RS ウイルス感染症	↓	0. 3 7	県全域、中央西、高知市、安芸、須崎で急減しています。
突発性発疹	→	0. 3 3	中央東、須崎、幡多で急減していますが、高知市で急増しています。

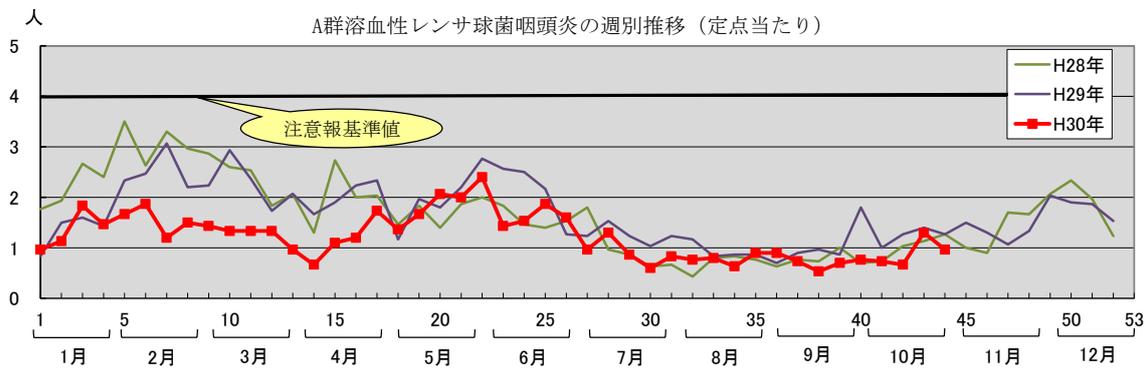
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

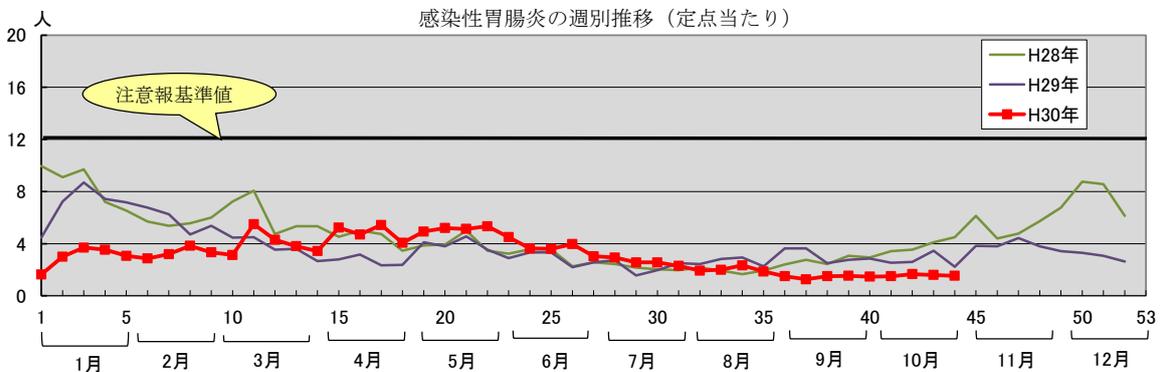
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第44週：0.97（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.97（前週：1.30）と減少しています。中央西0.00（前週：1.67）で急減、高知市1.91（前週：2.64）で減少していますが、幡多0.40（前週：0.20）で急増、中央東0.71（前週：0.43）で増加しています。



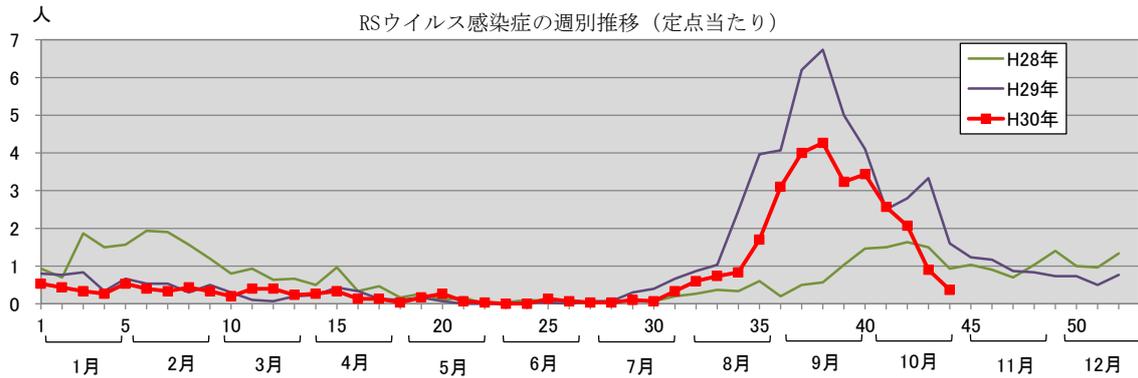
○感染性胃腸炎 第44週：1.53（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.53（前週：1.60）と横ばいです。高知市1.73（前週：2.27）須崎1.00（前週：1.50）で減少していますが、安芸4.00（前週：2.00）で急増しています。



○RSウイルス感染症 第44週：0.37 （注意報値：－ 警報値：－ ）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.37（前週：0.90）と急減しています。中央西 0.67（前週：1.67）高知市 0.36（前週：1.27）安芸 0.00（前週：1.00）須崎 0.00（前週：0.50）で急減しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	肺炎	肺炎,発疹,	1	男	須崎	Human herpes virus 6
44	感染性胃腸炎	下痢,	1	男	須崎	Sapovirus genogroup unknown
44	－	下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
44	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,	3	男	高知市	Streptococcus pyogenes TB3264
44	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,上気道炎,	6	女	高知市	Streptococcus pyogenes TB3264

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
41	手足口病疑い	38℃,発疹,	6	女	中央東	Epstein-Barr virus
43	ヘルパンギーナ	39℃,	10ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A10
43	咽頭結膜熱	嘔吐,嘔気,	4	男	中央東	Enterovirus 71
43	不明発疹症	発疹,	2	男	須崎	Epstein-Barr virus
43	不明発疹症	発疹,	1	女	須崎	Human herpes virus 7
43	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	5	女	高知市	Rhinovirus
43	不明発疹症	発疹,	7	女	須崎	Rhinovirus
43	－	下痢,	4	女	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	84	80歳代 男	高知市
		1		50歳代 男	
		1		80歳代 男	
		1		80歳代 女	
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	19	80歳代 男	高知市
		1		80歳代 男	
	百日咳	1	162	5~9歳 女	高知市
		1		20歳代 女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 感染 1 例 (2 歳男) 水痘 1 例 (2 歳男：予防接種未)
	高知大学医学部付属病院小児科	ヒトメタニューモニア気管支炎 1 例 (8 ヶ月女)
高知市	高知医療センター小児科	病原性大腸菌 1 例 (1 歳男)
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例 (4 歳) 病原性大腸菌 O-18 腸炎 1 例 (5 歳) カンピロバクター＋病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例 (3 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (11 歳) アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1 歳 2 人)
	三愛病院小児科	帯状疱疹 1 例 (15 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	水痘 1 例 (1 歳男：ワクチン未接種) 溶連菌感染症 3 例 RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳女)
	細木病院小児科	ノロ (+) 1 例 (5 ヶ月女) サルモネラ 1 例 (4 歳女) キャンピロ 1 例 (1 歳女)
須崎	もりはた小児科	全体に落ち着いているも 手足口、ヘルパンギーナの発生が続く
幡多	さたけ小児科	水痘 1 例 (7 歳男：ワクチン 1 回接種) 水痘 1 例 (1 歳男：帯状疱疹の父より感染、ワクチン未接種)

★全国情報

第42号 (10月15日～10月21日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核367例

3類感染症：細菌性赤痢20例、腸管出血性大腸菌感染症72例、腸チフス3例

4類感染症：E型肝炎7例、A型肝炎8例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例、
デング熱3例、日本紅斑熱14例、マラリア1例、ライム病1例、レジオネラ症46例、
レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症39例
急性弛緩性麻痺10例、急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群13例、
侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、
侵襲性肺炎球菌感染症30例、水痘（入院例に限る）5例、梅毒97例
播種性クリプトコックス症4例、破傷風1例、百日咳252例、風しん173例、麻しん8例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

削除予定：風しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢5例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症15例、レプトスピラ症1例
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性弛緩性麻痺4例、急性脳炎2例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、水痘（入院例に限る）5例
梅毒69例、播種性クリプトコックス症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
百日咳119例、風しん28例

★警報値・注意報値について

感染症発生動向調査における定点把握疾患のうち、流行の感染拡大を防止するため速やかな対策が必要な疾病について、広く注意喚起をすることを目的として、「警報基準値」「注意報基準値」を設定しています。

警報基準値：大きな流行の発生・継続が疑われる事を示します。

1週間の定点当たり報告数が、警報基準値以上の場合に「警報値を超えています」と表現しています。

注意報基準値：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

1週間の定点当たり報告数が、注意報基準値以上で警報基準値未満の場合に「注意報値を超えています」と表現しています。

高知県では、高知県感染症対策協議会感染症発生動向調査部会の論議を経て、独自の値を設定しており、それぞれの値は下表のとおりです。

疾病名	警報基準値	注意報基準値
インフルエンザ※ ₁	30	10
咽頭結膜熱※ ₂	3	1
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎※ ₂	8	4
感染性胃腸炎※ ₂	20	12
水痘※ ₂	7	4
手足口病※ ₂	5	2
伝染性紅斑※ ₂	2	1
突発性発疹※ ₂	4	2
ヘルパンギーナ※ ₂	6	2
流行性耳下腺炎※ ₂	6	3
急性出血性結膜炎※ ₃	1	0.1
流行性角結膜炎※ ₃	8	4

※₁ インフルエンザ報告数／インフルエンザ定点医療機関数

※₂ 各疾病報告数／小児科定点医療機関数

※₃ 各疾病報告数／眼科定点医療機関数（中央西・須崎管内はなし）

※₄ 定点当たり報告数の算出方法等については、第41週報に掲載しています。

.....

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第44週 平成30年10月29日(月)～平成30年11月4日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第44週							計	前週	全国(43週)	高知県(44週末累計)		全国(43週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/11/4				H30/1/1～H30/10/28			
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	959 (0.19)	20,894 (435.29)	1,765,554 (357.98)			
小児科	咽頭結核熱				3				3 (0.10)	4 (0.13)	1,031 (0.33)	464 (15.47)	57,621 (18.30)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				5	21		1	29 (0.97)	39 (1.30)	6,045 (1.92)	1,609 (53.63)	284,105 (90.22)			
	感染性胃腸炎	8	7	19	2	2	8	46 (1.53)	48 (1.60)	12,263 (3.89)	4,175 (139.17)	643,236 (204.27)				
	水痘		2	1			2	5 (0.17)	6 (0.20)	878 (0.28)	237 (7.90)	40,569 (12.88)				
	手足口病		6	2	4	1		13 (0.43)	16 (0.53)	3,016 (0.96)	1,066 (35.53)	104,835 (33.29)				
	伝染性紅斑		1	1				2 (0.07)	7 (0.23)	1,582 (0.50)	146 (4.87)	28,016 (8.90)				
	突発性発疹		1	9				10 (0.33)	10 (0.33)	1,304 (0.41)	455 (15.17)	59,685 (18.95)				
	ヘルパンギーナ		1				3	4 (0.13)	11 (0.37)	1,136 (0.36)	464 (15.47)	95,462 (30.32)				
	流行性耳下腺炎				1			1 (0.03)	2 (0.07)	351 (0.11)	60 (2.00)	20,330 (6.46)				
	RSウイルス感染症		3	4	2		2	11 (0.37)	27 (0.90)	2,756 (0.87)	1,045 (34.83)	104,951 (33.33)				
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	9 (0.01)	()	488 (0.70)				
	流行性角結膜炎				2			2 (0.67)	()	598 (0.86)	103 (34.33)	25,087 (36.10)				
基幹	細菌性髄膜炎				1			1 (0.13)	()	10 (0.02)	4 (0.50)	412 (0.86)				
	無菌性髄膜炎							()	()	17 (0.04)	1 (0.13)	682 (1.42)				
	マイコプラズマ肺炎							()	1 (0.13)	167 (0.35)	86 (10.75)	4,047 (8.45)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1			1 (0.13)	()	2 ()	18 (2.25)	125 (0.26)				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							()	()	3 (0.01)	32 (4.00)	3,076 (6.42)				
	計(小児科定点当たり人数)	8 (4.00)	26 (3.71)	65 (5.54)	8 (2.67)	7 (3.50)	14 (2.80)	128 (4.13)			32,127 (759.33)	30,859 (759.33)	3,238,281			
前週(小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	27 (3.87)	90 (8.07)	18 (6.01)	10 (5.00)	20 (4.00)		171 (5.66)								

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第44週							計	前週	全国(43週)	高知県(44週末累計)		全国(43週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/11/4				H30/1/1～H30/10/28			
インフルエンザ	インフルエンザ										0.19	435.29	357.98			
小児科	咽頭結核熱				0.27				0.10	0.13	0.33	15.47	18.30			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.71	1.91		0.50	0.40	0.97	1.30	1.92	53.63	90.22			
	感染性胃腸炎	4.00	1.00	1.73	0.67	1.00	1.60	1.53	1.53	1.60	3.89	139.17	204.27			
	水痘		0.29	0.09				0.17	0.17	0.20	0.28	7.90	12.88			
	手足口病		0.86	0.18	1.33	0.50		0.43	0.43	0.53	0.96	35.53	33.29			
	伝染性紅斑		0.14	0.09				0.07	0.07	0.23	0.50	4.87	8.90			
	突発性発疹		0.14	0.82				0.33	0.33	0.33	0.41	15.17	18.95			
	ヘルパンギーナ		0.14				1.50	0.13	0.13	0.37	0.36	15.47	30.32			
	流行性耳下腺炎				0.09			0.03	0.03	0.07	0.11	2.00	6.46			
	RSウイルス感染症		0.43	0.36	0.67			0.37	0.37	0.90	0.87	34.83	33.33			
眼科	急性出血性結膜炎										0.01	0.70				
	流行性角結膜炎				2.00			0.67	0.67	0.86	34.33	36.10				
基幹	細菌性髄膜炎				0.20			0.13	0.13	0.02	0.50	0.86				
	無菌性髄膜炎									0.04	0.13	1.42				
	マイコプラズマ肺炎								0.13	0.35	10.75	8.45				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20			0.13	0.13		2.25	0.26				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.01	4.00	6.42			
	計(小児科定点当たり人数)	4.00	3.71	5.54	2.67	3.50	2.80	4.13				759.33				
前週(小児科定点当たり人数)	3.00	3.87	8.07	6.01	5.00	4.00		5.66								

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年11月5日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。